

平成 29 年度 国語科

教科	国語	科目	現代文B	単位数	3単位	年次	3年次
使用教科書	「精選現代文B」 (三省堂)						
副教材等	国語必携 パーフェクト演習 三訂版 (尚文出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・ 様々な文章を精読することを通して「読む能力」を向上させましょう
- ・ また、文章の読解を通して、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身につけてください。
- ・ 予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
- ・ 提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。
- ・ 日頃から読書をする習慣を身につけてください。
- ・ レポートなどの課題にも積極的に取り組んでください。

2 学習の到達目標

- ・ 近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める。
- ・ 読書する習慣を身につけ、進んで読書することによって国語力の向上を図り、人生を豊かにする態度を育てる。
- ・ 言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
- ・ 人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲 ・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主 たる 評 価 方 法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークブック、ワークシート等)	行動の観察 (発表等のパフォーマンスの評価)	記述の確認及び分析 (ノート、ワークブック、ワークシート、原稿用紙)	記述の確認及び分析(ノート、ワークブック、ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークブック、ワークシート等) 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1 学期	評論	教材: 「ブーボー」と『マンマ』の記号論」 (池上嘉彦)	○			◎	○	a:文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図を捉えようとする。 d:語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを間違いなく、過不足なく読み取っている。 e:読むことに必要な文章の組み立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。	a、d、e: 行動の観察と確認及び定期考査
	詩歌	教材: 「渡り鳥—俳句十五句」	○		◎	◎	○	a:繰り返し音読することで俳句の韻律に慣れようとしている。 c:俳句を味わい、自分の言葉で鑑賞文を書こうとしている。 d:思想や感情に注意しながらそれぞれの句を読んでいる。 e:俳句の形式や修辞などについての理解を深めている。	a、c:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト
	小説	教材:「こころ」(夏目漱石)	○			◎	○	a:表現に即して、人物や情景の描写を味わいながら小説を読もうとしている。 d:情景や会話の描写から、人物の様子について考察しながら読んでいる。 e:作者の思想や作品について、理解を深めている。	a、d、e: 記述の点検と確認及び定期考査
	詩歌	教材: 「死んだ男」(鮎川信夫)	○	◎		◎	○	a:詩歌の思想や感情を理解して朗読しようとしている。 b:作品についての感想を発表し合い、各自の読みを深めようとしている。 d:筆者の感じ方や考えを捉えながら詩歌を読んでいる。 e:詩歌に用いられている修辞について理解を深めている。	a、b:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

2 学 期	評論	教材:「虚ろなまなざし」 (岡真理)	○	◎	◎	○	a:筆者の問題意識を把握しながら文章を読もうとしている。 b:話す内容について幅広く資料などに当たって調べている。 d:筆者の考えをもとに自分の考えを深め、発展させようとしている。 e:複合語や連語などについての理解を深めている。	a、b、d、e: 行動の観察と確認及び定期考査
	小説	教材: 「鞆」(安部公房)	○	◎	◎	○	a: 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 c: 作品の隠喩を理解し、その手法を使った作品を作ってみる。 d: 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしている。 e: 言語が文化の享受や発展にどのように関わっているのかについて理解している。	a、c:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査
	評論	教材: 「南の困難／北の貧困」(見田宗介)	○		◎	○	a: 視野を広げ思考を進めながら文章を読もうとしている。 d: 用語や文体や修辞などに注目しながら文章を読んでいる。 e: 組み立てのしっかりした文章を書く方法を身につけている。	a: 行動の観察 d、e: 記述の点検と確認及び定期考査
	小説	教材: 「ランドセル」(角田光代)	○	◎	◎	○	a: 人物、情景、心情などを、どうして筆者がこのように描いているのかに気づこうとしている。 c: 自我の目覚めについての各自の作品を作ろうとしている。 d: 人物、情景、心情などを、どうして筆者がこのように描いているのかに気づいている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、c:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査

3 学 期	評論	教材:『『私』消え、止まらぬ連鎖』(高村薫)	○		◎	◎	○	a: 想像力を働かせながら文章を読もうとしている。 c: 教材に対する自分の意見をまとめようとしている。 d: 論点の関係を捉えることで要旨を把握しながら文章を読んでいる。 e: 文体やレトリックなど、表現の特色について理解を深めている。	a、c:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査
	小説	教材: 「飛行機で眠るのは難しい」(小川洋子)	○	◎		◎	○	a: 想像力を働かせながら情景や心情を読もうとしている。 b: 作品中の人物の感情についての感想を互いに発表し合い、自身の読みを深めようとしている。 d: 人物の行動や思考・心情を捉えながら読んでいる。 e: 語句に関して、文脈上の意味への理解を深めている。	a、b:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	評論	教材: 「日本文化の雑種性」(加藤周一)	○				◎	○	a: 結論の導き方に注意しながら文章を読もうとしている。 d: 個々の段落の働きを確かめながら文章を読んでいる。 e: 具体例・説明・補足・反証などの文章構成について理解を深めている。

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:話す・聞く能力 c:書く能力
d:読む能力 e:知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。